

ヒト・モノ・マチをつなぎ
地域の安全・安心
まちの元気を創出する

国道108号に接し、古川千手寺町地区(旧市民病院駐車場跡地)に整備してきた「道の駅おおさき」が、いよいよ、7月5日11時にオープンします。

道の駅おおさきでは、大崎の豊富な食材や特産品を販売する産直コーナーや、大崎産食材にこだわったコミュニティ

ティカカフェなど、大崎の魅力をたっぷり詰め込んでいます。来て、見て、食べて、市の豊かな資源や文化を大いに楽しむことができます。

また、「世界農業遺産 大崎 耕土のストーリーをつなぐ」をテーマに、大崎耕土全体を大自然の博物館のように感じてもらおう、大崎耕土フィロドミュージアムの情報発信コーナーを設置。持参すると市内約50カ所や飲食店や雑貨屋、温泉施設などでお得なサービスが受けられる「まちナビカード」も実施します。

さらに、市の中心市街地に位置することから、緊急時には一次避難所としての役割も担い、防災活動拠点形成ゾーンの一角として、市民の安全・安心を支えます。

「まちの元気」を創造する新活力として期待される、「道の駅おおさき」に、ご家族や友人と、ぜひ足をお運びください。



7月5日(金)11時
オープン!



特徴

- ◆ 柱、腰壁、格子壁、屋根小屋組みなど、施設の多くに「大崎市産の杉材」をふんだんに使用!
- ◆ イベントなどが開催できる、ゆったりとした屋外広場を施設前に配置!
- ◆ 停電時にも安心の発電設備!
(施設の約半数の照明とコンセント、道路情報システム、トイレや授乳室・各コーナーへのエアコン設備などに供給)
- ◆ 災害時、約2,600人分(3日程度)の飲料水をまかなえる受水槽、かまどとして利用できる「かまどベンチ」を2基、トイレとして利用できる「マンホールトイレ」を10基設置!

